

- 問1 1860年代、開国直後の日本における対外貿易の状況について述べた文として、正しいものはどれですか。なお、当時の統計においてこの国は輸出額の52.4%を占めていました。 (2017年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 横浜港を最大の拠点とし、イギリスを最大の貿易相手国としていた。 | 2. 横浜港を最大の拠点とし、アメリカを最大の貿易相手国としていた。 | 3. 長崎港を最大の拠点とし、オランダを最大の貿易相手国としていた。 | 4. 函館港を最大の拠点とし、ロシアを最大の貿易相手国としていた。 |
|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
- 問2 幕末の長州藩に関連する出来事について述べた文として、正しいものを一つ選びなさい。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------|---|------------------------------------|
| 1. 戊辰戦争の際には、幕府側の中心として会津藩などと奥羽越列藩同盟を結んだ | 2. 井伊直弼が主導した安政の大獄によって、藩主が処刑された | 3. ペリーの来航後、すぐに開国を主張してイギリスとの間に日英通商破壊条約を結んだ | 4. 坂本龍馬らの仲介によって、対立していた薩摩藩と薩長同盟を結んだ |
|--|--------------------------------|---|------------------------------------|
- 問3 幕末の政治において、幕府が朝廷との関係を深めて権威の回復を図った「公武合体」の具体的な事例として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|------------------------|------------------------|------------------------------|
| 1. 欧米諸国との間で結ばれた日米修好通商条約 | 2. 薩摩藩と長州藩が秘密裏に結んだ薩長同盟 | 3. 徳川慶喜が政権を朝廷に返上した大政奉還 | 4. 孝明天皇の妹である和宮と、将軍である徳川家茂の婚姻 |
|-------------------------|------------------------|------------------------|------------------------------|
- 問4 長州藩は当初、外国勢力を排除しようとする攘夷運動の急先鋒でしたが、四国艦隊による下関砲台占領という事態を経験したことで、その方針を大きく転換させることになりました。この出来事のあとに、長州藩が倒幕を実現するためにとった行動の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|--|---|
| 1. 幕府を支えて公議政体を作り上げるため、会津藩と同盟を結んだ。 | 2. 外国の軍勢力を借りるため、アメリカと新たな不平等条約を締結した。 | 3. 攘夷を継続するため、朝廷に対して江戸幕府の役職を辞任するよう要求した。 | 4. 対立していた薩摩藩と密かに手を結び、武力によって幕府を倒す準備を進めた。 |
|-----------------------------------|-------------------------------------|--|---|
- 問5 1858年に日本とアメリカの間で結ばれた日米修好通商条約では、函館、神奈川（横浜）、長崎、兵庫（神戸）とともに、日本海側の重要な拠点としてもう一つの港を開港することが定められました。このとき、条約で開港場として指定されたもう一つの都市はどこですか。 (2026年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|------|-------|
| 1. 鹿児島 | 2. 新潟 | 3. 堺 | 4. 広島 |
|--------|-------|------|-------|
- 問6 開国後の日本において、国内の物価が急騰し、民衆の生活が苦しくなった理由を説明した文として、適切な語句の組み合わせを選びなさい。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 欧米からの機械類の輸入増加と、金貨の国内流入による通貨価値の下落。 | 2. 関税自主権がないことによる輸入制限と、銀貨の大量流出。 | 3. 綿織物の輸出による国内生産の停滞と、幕府による金貨の回収。 | 4. 金銀比価の差による金貨の流出と、生糸などの輸出による国内での品不足。 |
|--------------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|
- 問7 1853年、アメリカのペリー率いる艦隊（黒船）が来航し、江戸幕府に対して開国を求めました。このとき、艦隊が最初に到着した、関東地方の三浦半島に位置する場所はどこですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 函館 | 2. 下田 | 3. 浦賀 | 4. 新潟 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問8 1858年にポーハタン号などの艦上で調印された日米修好通商条約などの不平等条約において、日本側に認められていなかった、輸出品や輸入品にかかる税率を自国で決定する権利を何といいますか。 (2020年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|----------|----------|
| 1. 治外法権 | 2. 参政権 | 3. 関税自主権 | 4. 領事裁判権 |
|---------|--------|----------|----------|
- 問9 1853年にアメリカのペリーが浦賀に来航した時期の世界情勢について、当時の出来事を時系列に並べた際の記述として正しいものはどれですか。なお、世界史上の出来事は、マゼランの航海、イギリスの名誉革命、フランス革命、アメリカの南北戦争、ロシア革命の順に起こったものとします。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. アメリカの南北戦争よりも後で、ロシア革命よりも前の時期である。 | 2. フランス革命よりも後で、アメリカの南北戦争よりも前の時期である。 | 3. イギリスの名誉革命よりも後で、フランス革命よりも前の時期である。 | 4. マゼランの航海よりも前で、大航海時代が始まる前の時期である。 |
|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
- 問10 1840年に勃発したアヘン戦争において、勝利したイギリスが清との間で結んだ講和条約の名前と、その条約でイギリスが領有することになった地域の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|----------------|--------------|--------------|
| 1. 南京条約 ― 香港 | 2. 下関条約 ― 遼東半島 | 3. 南京条約 ― 台湾 | 4. 下関条約 ― 香港 |
|--------------|----------------|--------------|--------------|
- 問11 幕末期の長州藩において、松下村塾で学んだ伊藤博文などの志士たちが当初参加していた、「天皇を尊び、外国の勢力を排除しようとする」政治思想を何といいますか。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 文明開化 | 2. 和魂洋才 | 3. 公武合体 | 4. 尊王攘夷 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問12 幕末、長崎のオランダ商館を通じて提出される「風説書」などにより、幕府は海外情勢を把握していました。1844年に、アヘン戦争での清の敗北といった世界情勢の変化を背景に、江戸幕府に対して正式に「開国勧告」の親書を送った人物は誰ですか。 (2019年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|------------|----------|
| 1. オランダ国王 | 2. 清の皇帝 | 3. アメリカ大統領 | 4. ロシア皇帝 |
|-----------|---------|------------|----------|
- 問13 1858年の日米修好通商条約締結後、幕末の日本における輸入統計をみると、1865年には特定の国が輸入相手国の約83パーセントという圧倒的なシェアを占めていました。その国名と、当時その国から大量に輸入され、輸入総額の急増を招いた主な品目の組み合わせとして正しいものを選択してください。 (2021年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|-----------|-------------|--------------|
| 1. アメリカ合衆国、生糸 | 2. フランス、茶 | 3. イギリス、綿織物 | 4. 中国（清）、毛織物 |
|---------------|-----------|-------------|--------------|
- 問14 日米修好通商条約の締結によって貿易が本格化した際、イギリスなどの欧米諸国から機械生産による安価な製品が大量に流入しました。これにより、日本の農村部などの生産地に大きな打撃を与えた品物の組み合わせとして正しいものを選択してください。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-----------|------------|-----------|
| 1. 生糸・茶 | 2. 毛織物・鉄鋼 | 3. 絹織物・陶磁器 | 4. 綿糸・綿織物 |
|---------|-----------|------------|-----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 横浜港を最大の拠点とし、イギリスを最大の貿易相手国としていた。	開国後の貿易において、神奈川（横浜）は輸出入ともに最大のシェアを占める港となりました。当時の主要な貿易相手国はイギリスであり、アメリカは南北戦争の影響などから日本との貿易における割合はイギリスに次ぐ順位となっていました。地理的な条件や、輸出品である生糸の集散地に近いことから横浜が急速に発展しました。
問2	答え 4 坂本龍馬らの仲介によって、対立していた薩摩藩と薩長同盟を結んだ	長州藩は当初、京都での政局を巡って薩摩藩と対立していましたが、1866年に土佐藩出身の坂本龍馬や中岡慎太郎の仲介により、薩摩藩と軍事同盟である薩長同盟を締結しました。これが倒幕に向けた決定的な転換点となりました。安政の大獄で処刑されたのは藩主ではなく、松下村塾で多くの人材を育てた吉田松陰らです。
問3	答え 4 孝明天皇の妹である和宮と、将軍である徳川家茂の婚姻	公武合体政策を象徴する出来事が、14代将軍・徳川家茂と、天皇の妹である和宮（和宮親子内親王）の結婚です。幕府は皇族を将軍の妻に迎えることで、幕府と朝廷の一体感を演出し、失墜した幕府の権威を取り戻そうとしました。これに対して、薩長同盟や大政奉還は、幕府を中心とした体制そのものを終わらせようとする動きに関連する事項です。
問4	答え 4 対立していた薩摩藩と密かに手を結び、武力によって幕府を倒す準備を進めた。	四国艦隊の下関砲台占領により、長州藩は単独での攘夷が不可能であることを痛感しました。同様にイギリスとの戦争（薩英戦争）を経験していた薩摩藩も、海外の進んだ技術を取り入れる必要性を感じていました。両藩はそれまで対立関係にありましたが、土佐藩出身の坂本龍馬や中岡慎太郎の仲介によって、1866年に薩長同盟を締結しました。これにより、倒幕に向けた強力な軍事的・政治的基盤が確立されることとなりました。
問5	答え 2 新潟	日米修好通商条約では、すでに開港していた下田に代わり、函館、神奈川（現在の横浜）、長崎、兵庫（現在の神戸）、新潟の5つの港を開くことが決められました。新潟はこれらの中で唯一、日本海側に位置しています。当時、大老の井伊直弼が天皇の許可を得ないまま調印したため、のちの尊王攘夷運動が激化するきっかけとなりました。
問6	答え 4 金銀比価の差による金貨の流出と、生糸などの輸出による国内での品不足。	開国後の物価上昇（インフレーション）の主な要因は、通貨問題と需給バランスの崩壊にあります。日本と海外での金銀交換比率の差を突かれ、質の良い日本の金貨が大量に国外へ流出したことで貨幣価値が混乱しました。また、生糸や茶が主要な輸出品として大量に海外へ送られた結果、国内向けの供給が追いつかなくなり、価格が跳ね上がることとなりました。
問7	答え 3 浦賀	1853年にアメリカの東インド艦隊司令官ペリーが、大統領の国書を携えて到着したのが三浦半島の浦賀（現在の神奈川県横須賀市）です。この出来事は長年続いた「鎖国」体制を揺るがす大きな転換点となりました。選択肢のうち、下田と函館は翌1854年に結ばれた日米和親条約によって開港された場所であり、新潟は1858年の日米修好通商条約によって開港が決められた港の一つです。
問8	答え 3 関税自主権	日米修好通商条約では、日本が輸入品に対して自由に税率を決めることができず、相手国との協議で決めることになっていました。このように、自国で独自に税率を定める権利がない状態を、関税自主権の欠如といいます。これに対し、外国人が日本で犯した罪をその国の領事が裁く権利は領事裁判権（治外法権）と呼ばれ、関税自主権とともに幕末から明治にかけての条約改正における大きな課題となりました。
問9	答え 2 フランス革命よりも後で、アメリカの南北戦争よりも前の時期である。	ペリーが浦賀に来航した1853年は、18世紀末のフランス革命（1789年）から、19世紀半ばにアメリカ国内で起こった南北戦争（1861年開始）の間の時期に該当します。この時期のアメリカは、産業の発展に伴い太平洋航路の拠点や捕鯨船の補給地を必要としており、日本に対して開国を強く迫る背景となりました。イギリスの名誉革命（1688年）やマゼランの航海（16世紀）はこれより以前の出来事であり、ロシア革命（1917年）は明治維新よりも後の出来事です。
問10	答え 1 南京条約 ― 香港	イギリスはアヘンの没収をきっかけに清へ軍事侵攻を行い、アヘン戦争を引き起こしました。1842年に締結された南京条約では、香港の領有のほか、上海などの5港の開港や多額の賠償金の支払いが定められ、清にとって極めて不利な内容となりました。下関条約は日清戦争の講和条約であり、混同しないよう注意が必要です。
問11	答え 4 尊王攘夷	ペリー来航以降、幕府が天皇の許しを得ずに条約を締結したことへの反発から、天皇を敬う「尊王」と、外国勢力を撃退する「攘夷」が結びついた思想が広まりました。伊藤博文などの長州藩の志士たちは、当初はこの思想に基づき、イギリス公使館を焼き討ちにするなどの激しい行動に出ましたが、後に海外の進んだ実情を知ること、開国と近代化による国づくりへと方針を転換しました。
問12	答え 1 オランダ国王	1844年、オランダ国王のウィレム2世は、強大化した欧米列強が日本へ迫ることを予見し、江戸幕府の徳川家慶に対して親書を送りました。幕府はこの勧告を最終的には拒否しましたが、オランダ商館長が提出する「オランダ風説書」などを通じて、アヘン戦争の推移や清の敗北、そして欧米諸国の動向といった最新情報は詳細に把握していました。
問13	答え 3 イギリス、綿織物	幕末の開国後、日本は欧米諸国と通商条約を締結して貿易を開始しましたが、最大の貿易相手国となったのはイギリスでした。当時のイギリスは産業革命を経て、機械による大量生産が可能な工業国となっていたため、安価な綿織物や毛織物を日本へ大量に輸出しました。一方で、日本からの輸出品は生糸や茶が中心でした。
問14	答え 4 綿糸・綿織物	産業革命を経験した欧米諸国から、工場で大量生産された安価な綿糸や綿織物が輸入されるようになりました。それまで日本の農村で手作業によって行われていた綿作や綿織物業は、価格競争に勝つことができず、国内の生産地は深刻な経済的打撃を受けることとなりました。一方、生糸や茶は当時の主要な「輸出」品目です。